

耐久性・耐候性に優れ、高級感のある意匠性が人気のタイル外壁は、施工不良や経年劣化に伴うタイルの浮きや剥落への対策が不可欠だ。もしも何らかの原因でタイルが剥落してしまった場合、大きな事故に繋がることから定期的な診断と補修改修が欠かせない。

いかにしてタイルの美観と健全性を維持していくか。本稿では築90年以上が経過しても健全な状態を維持している『近三ビルディング』の補修修繕の報告のほか、タイル直張り工法の開発経緯とそのごの変遷の寄稿を掲載。メーカー各社の推奨工法を紹介することで今後の展望を探っていく。
(編集部)

寄稿

築94年の近三ビルディングにおける 外壁補修修繕と維持管理について

近三商事(株) 代表取締役 森 隆 …12

寄稿

タイル直張り工法の開発経緯と 実態について

(株)テックタイリング 代表取締役 山崎 健一 …19

製品・工法レポート

意匠の変化がない、タイル下地浮きの 広範囲に接着剤を充填可能な注入工法

アサヒボンド工業(株) 営業部 澤田 秀史 …36

製品・工法レポート

美観を損なうことなく外壁タイルの 浮き箇所を確実に施工する部分補修工法

タイルフィックス工業会 会長 中坂 勇二
同工業会 技術委員会委員長 岩井 宗一 …39

タイルの剥離・剥落を防ぐ注目の補修改修工法

- 「プレスダウングラウト工法」 アサヒボンド工業株式会社 …… 42
- 「ボンドソルバインド工法」 コニシ株式会社 …………… 42
- 「タイルフィックス」 株式会社 Toho …………… 42